

感 染 性 胃 腸 炎

平成15年度に県内で散発性の感染性胃腸炎と診断された患者から採取された検体は77件あった。表1に示したとおり 10種のウイルスが検出されたが、ノロウイルス(NV)が、11月から1月を中心に最も多く検出された。ロタウイルス(R)は1年を通して1株だけの検出であり、昨年度が1月から3月にかけて9株検出されているのに比べ、非常に少なかった。このほか、エコーウイルス(E)6型、7型、30型、エンテロウイルス(EV)71型がこれらのウイルスによる無菌性髄膜炎の流行時期に重なって検出された。

感染性胃腸炎の集団発生事例の発生状況を表2に示したが、4月、11月及び12月には保育園、幼稚園で、平成16年3月には老健施設で集中して発生しており、すべてノロウイルスによるものであった。今冬は他県でも老健施設等における集団胃腸炎が多発している。11月に発生した保育園の事例ではノロウイルスの他にコクサッキーウイルスB3型、エコーウイルス6型及び25型、アデノウイルス(AD)2型の重複感染が見られた。

表1 平成15年度 病原体検査結果(感染症発生動向調査)

検体採取月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	TOTAL
検体数	0	2	4	9	3	13	2	15	15	11	0	3	77
検出ウイルス	NV			2				4	7	4			17
	R							1					1
	AD1				1								1
	AD3			1				1					2
	AD5						1						1
	AD40/41		1							1			2
	E6							1					1
	E7				1		1						2
	E30						1						1
	EV71						1						1

表2 集団発生事例

発生年月	発生施設	検出ウイルス	患者検査数	陽性数
H15. 4	小学校	NV	6	4
	幼稚園	NV	5	4
H15.11	保育園	NV	12	9
	幼稚園	NV	24	21
H15.12	保育園	NV	5	5
H16. 3	老健施設	NV	8	6
	老健施設	NV	7	7
	老健施設	NV	15	10